

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	利用者が主体である自立した生活を送って頂くことを目指しているが、時として職員が手を出し過ぎる過度な介護をしてしまっている。	職員が「生活支援」を十分に理解し、共通認識のもと利用者が当たり前の生活を送ることができるような環境づくりに努めることと、利用者が行う事をじっくりと見守り、待つことを徹底する。	利用者ひとりひとりのできることや支援方法を職員全員が共有する。利用者が生活しやすいレイアウトや生活空間等、利用者の声を反映させ、環境整備に努める。	12ヶ月
2	21	共に生活する利用者同士の関係性に希薄なところがあり、職員が関係づくりをうまく繋げず、共に生活するうえでの共同がうまく構築できていない。	利用者同士が共に力を合わせ、生活をおくることができる。	職員が個々の利用者の特性や他利用者との関係性を把握し、仲介する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。